

L P ガス C P 情報(2013年7月積み)

1. 7月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 795^{ドル} (前月比 +50^{ドル})ブタン 790^{ドル} (前月比 +20^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、不需要期にも関わらずトレーダー勢が在庫積み増し需要等を狙って引き合いを強め、高値で推移した。産ガス国のスポット供給はサウジ、カタール、クウェート、UAE等に余裕があったが、トレーダー勢の引き合いで一時的に高騰する場面もあった。CP先物はバックワーデーション(期先安)となっているが、期近7月限と期先9月限の格差は25^{ドル}程度。一方、ナフサが840~880^{ドル}で推移(第4週は850^{ドル}台)、ブタンは、石化向け需要が減少し、ブタン供給にも余裕があることから第3週にはプロパン高ブタン安に逆転した。フレート市況は北南米からの輸出増とアクセプタンスの前倒しなどにより船舶需給がひっ迫し急騰したまま高値で推移した。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン6ポイント、ブタン2ポイントの上昇、前年同月比ではプロパン21、ブタン15ポイントそれぞれ高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	74	78	79	78	77
CP先物指標:P	775	785	780	804	786
CP先物指標:B	790	790	770	804	788

② 原油市況等

原油市況をみると、6月のWTIは93^{ドル}、ドバイ99^{ドル}台でスタートしたが、米国経済指標の改善と中東情勢の悪化による地政学リスクが下支えとなり、第3週には98^{ドル}台まで急騰した。また、中国の経済成長鈍化、FRBのFOMC(米連邦公開市場委員会)開催前後で、景気刺激策の継続か縮小かを巡り株価、商品市況が大きく動いたが、93~98^{ドル}のレンジで推移した。一方、欧州の景気回復遅れからブレント安となりWTIとの価格格差は6^{ドル}を切るところまで縮小、株高が続き、リスク許容度が高まり商品市場にも投機資金が流入、WTIの建玉(総取組高)は18日に187万枚の過去最高水準を記録、大口投機玉ネット買い越しは同日で29.9万枚まで膨らんだ。

○6月積みアラビアンライト(6月1~28日まで)は102.335^{ドル}(前月比+0.126^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン389.04^{ドル/トン} ブタン327.53^{ドル/トン}

AL比 プロパン94.75% ブタン95.46%

2. 2013年7~8月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	97.92	77,846	77,357	+2,400	-600
26~25日②	99.25	76,400	77,400	+1,100	-1,200
1~31日③	98.44	75,000	76,500	-400	-2,500
1~31日④	98.44	75,800	76,800	200	-2,100

*TTS平均は①が6月16日~6月28日まで、②は5月26日~6月25日

③、④は6月1~28日、①は8月仕切への影響、②~④は7月仕切適用。

③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。